

第3回地域連携推進部会 議事録

豊かな人間性

挑戦する意欲

持続可能な社会を担う力

《これからの社会をたくましくしなやかに生き 活躍することのできる力を育むために》

1 第2回の協議内容（振り返り）

(別紙参照)

2 今回の協議内容等

本日の総合的な探究中間発表の授業を見た感想等について

【今委員】

生徒たちはいっぱい調べた感じは伝わってきた。ただうまく表現できていない部分もあると感じた。今後テーマを違うものにすることもあるなら、それらをとおしてそのチームは更に深く考えることができるようになるかもしれない。

【吉田委員】

ゴミのことで夏休み前から相談を受けていたチームがあった。クリーンセンターにも一緒に行った。そのチームの発表はいいところをついていた。今回「中間発表」ではあったが、(全体として)アウトラインまでの到達に見えた。もう少し深掘りがあると良い。テーマは良いところをついているので、今後どのように発表に向けてまとめていけるか。

【福沢委員】

チームごとの出来具合の濃淡があることはやむを得ない。今後に向けて検討して欲しいのは、「発表の中身はいいから、発表は聞いている人がいることを考えて、その人たちに対して伝えたいという姿勢を示す」こと。これを指導して行って欲しい。

【数馬田委員】

先生方のご苦労を感じた。周囲（連携部会の人たち）が「先生方はこんなに頑張ってくれているんだよ」と側面から先生方の働きを伝えることができるかも。

【芳賀委員】

外国人問題を扱ったチームと話をした。「問題」とすると良くない印象を与えるので「(外国人と)共生」とすると良いことを話し合っ、このように修正させた。このことを扱っている人と個人的に話した時に勉強になったので、生徒たちもいろんなところに行って話を聞く体験をすると思った。そうした体験ができるよう導いてあげることはできないか。

【市川委員】

発表が煮詰められていない部分もあるように感じた。自分のホーム（福祉施設）に来てくれる生徒も結構いるので、どのように援助できるかと考える。

3 年間のスケジュール

次回の予定については、事務局と相談しながら改めて皆さんにメールで連絡

活動のねらい

地域連携推進 活 動 内 容

- ・本校が育成を目指す資質・能力について、地域と共通理解を図ると共に、地域と教職員が協働しながら効果的な教育活動の在り方等について助言や支援を行う。
- ・生徒の探究的な学びの推進のため、野幌高校コンソーシアムとの円滑な連携を促進するための助言や支援を行う。
- ・生徒が自己の適性を理解し、進路及び自己実現するための活動について助言や支援を行う。